

ACALL 株式会社

所在地
事業内容
TEL

神戸市中央区江戸町104-2階
WorkstyleOSの開発・提供
078-599-8419

スマートオフィスを実現する「WorkstyleOS」

2016年よりスマートオフィス・プラットフォームの「WorkstyleOS」を提供中。様々な外部サービスとの連携が可能で、蓄積されたデータを分析し、一人一人の最適な働き方の提案を行う。

沿革



◆ 創業者の経歴

代表取締役の長沼斉寿氏は、神戸大学卒業後、日本 IBM 株式会社に入社し、金融市場向けグローバルソフトウェアの提案に従事。リーマン・ショック時に同社を退職後、空間デザインの専門学校を経て、2010年10月8日に当社を設立して代表取締役に就任し、現在に至る。

◆ 起業に至る経緯

SFが好きでIBMに入社。先進的なオフィスで働く中で、働く場所と仕事との関係性の強さを感じ、未来の働き方について貢献したいと考えた。

会社設立後は企業向けソフトウェア開発事業、メンタルヘルス web サービス事業等を経て、2016年7月に無人受付システムサービス「ACALL（アコール）」を正式リリース。これにより、「WorkstyleOS」事業が本格スタートした。

◆ 事業にかける思い

人々の「暮らし」、「はたらく」を自由にデザインできる社会の実現を目指している。

また、自分たちのミッションとして、自らが新しいワークスタイルをどんどん開発し、お客様より先に自社を実験台として、得た知見を織り交ぜながら提供し、さらにお客様の声も採り入れながら、テクノロジーを使って、新しいワークスタイルを作っていきたいとしている。

特徴・強み

◆ ビジネスモデルとその特徴

スマートオフィス・プラットフォームの「WorkstyleOS」を中心として、ワークデータの分析・可視化や入退館・受付チェックイン等の各種アプリケーションも提供している。

【WorkstyleOS】

どこでも安心・安全・快適にはたらく ワークスペース管理プラットフォーム

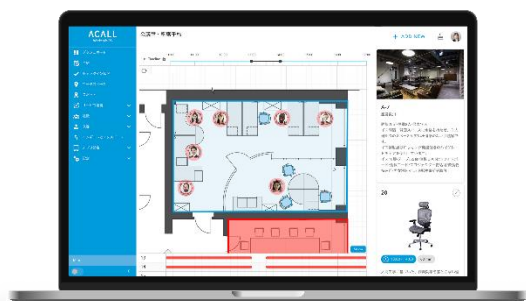
 WorkstyleOS



ワークスタイルについては、人事系から場所・コミュニケーションに関わることで幅広くあるが、そうしたアプリやサービスについて、す

べてを当社が提供するのではなく、当社はOSの部分に特化し、様々な外部アプリやサービスを提供する法人と連携した上でより良いモデルを構築していきたいとしている。

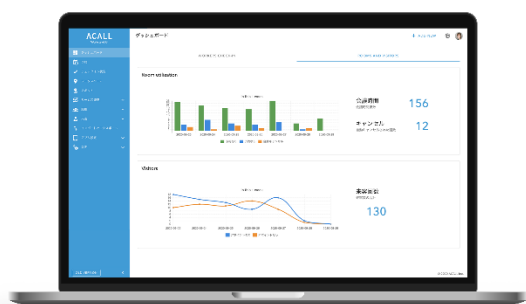
【WorkstyleOS－座席予約－】



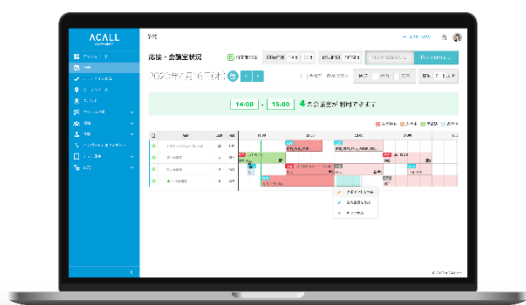
【WorkstyleOS－ワーカチェックイン－】



【WorkstyleOS－ワークスペース分析－】



【WorkstyleOS－会議室予約－】



◆ 強み・アピールポイント

様々な情報・要素が集約されるだけでなく、データを連携し、分析することによって、社員一人一人にとっての働き方の改善（定量化・生産性向上・主体的な社会への貢献）に繋がる点が強みとなる。また、会社との利害を一致させる形で、働く人にとって最適な判断材料となることを目指している。

将来展望

◆ 今後の事業展開

5年後、10年後の目標とする到達点やロールモデル

現在、東南アジアで実証実験中であり、2021年よりシンガポールでの展開を予定している。さらに、5～10年後は、ヨーロッパ・北米へも日本発のプロダクトとして広めていく意向。また、機会があればアクセラプログラムへの参加なども行っていきたいとしている。

◆ 今後新たに開発したい商材・サービス

拡充したい販路（ターゲット層）

仕事の間だけでなく、介護や子育てなど暮らしの場においても「WorkstyleOS」がアシスト可能となるようにしていきたい。ただし、原則として、人を監視する用途には使いたくないと考えている。

PR 事項

◆ 提供サービスにおける PR 事項

様々な外部ツールと連携できる柔軟性があり、それぞれの暮らしと仕事にフィットしたワークスタイルを提案し、多様な働き方を実現していくことができると考えている。

会社概要

設立：2010年8月
資本金：840,000千円（資本準備金含む）
従業員数：36人
URL：<https://corp.acall.jp/>
主力サービス開始時期：2016年7月